

「“ワクワク・ドキドキ” 新幹線開業アイデアプラン」 活動報告

○ 団体名：殿下郷ホテルとハナモモの里街道実行委員会

○ プラン名：殿下郷ホテルとハナモモの里街道プロジェクト

< 活動内容・実績（令和3年度～令和6年度） >

・ 令和3年度

実施内容① 福井市殿下地区にてハナモモ植樹！

- ・ 植樹予定地の地権者と折衝
- ・ ハナモモの苗を確保、植樹地の整備、下草刈り、苗涵養を行う
- ・ 植樹を行う

実績①

- ・ 地区の4町内で候補地を確保する
- ・ 計95本の苗を確保し、作業道の整備を行うなど植栽の準備を完了する
- ・ 計65本の植樹に成功する



実施内容② 福井市殿下地区にてホテル涵養地整備を行う！

- ・ 専門家を招集してホテルを増やすためのアドバイスを受ける
- ・ 湿地帯の整備を行う

実績②

- ・ 町内より6名が参加し、専門家のアドバイスを受ける
- ・ 湿地帯を1.5ha整備する

<活動内容・実績（令和3年度～令和6年度）>

・令和4年度

実施内容 ホタルとハナモモの整備、PR活動を実施！

- ・ハナモモ植栽地とホタルの涵養地の整備を行う
- ・ハナモモの植樹を行う
- ・ホタルの幼虫の餌となるカワニナを確保し放流し、ホタルの涵養に繋げる
- ・地区内外にホタル涵養の意義を広めるために、ホタル観賞イベントを開催

実績

- ・新たに1haの土地を確保し、作業道の敷設や急傾斜地を整備する
植栽作業を効率的に行えるようになり、遊歩道としての活用も可能となった
- ・合計210本のハナモモの植樹を行う
- ・カワニナを100匹確保し放流した
- ・ホタル観賞イベントに11名が参加した

・令和5年度



ホタルが舞う里山づくりを語るタベ

ホタル研究の第一人者、草桶秀夫先生をお招きして、ホタルの生態、涵養地の整備から里山づくりについて学び、先生を囲んでホタルについてみんなで語ります。その後、実際にフィールドに出て、ホタル鑑賞会を行います。

日時：6月24日（金）18～21時
場所：福井市水谷町12-7（殿下地区）
 ライダーハウス106
 18時～ 草桶先生講演「ホタルが舞う里山づくり」
 19時～ 先生を囲んで懇親会
 20時～ ホタル観賞会

草桶秀夫氏：NPO法人日本ホタル再生ねっと理事代表
 元福井工業大学教授、東京工業大大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士、民間企業に4年間勤務したのち、福井工業大学講師、助教授、教授を経て、2018年3月に退職。専門は生命科学で、ホタルの遺伝的多様性や微生物酵素の構造と機能解明など、生物の働きについて遺伝子レベルの研究を行ってきた。現在、ホタルの再生とまちづくりに取り組んでいる。

※小学生以上の方が参加いただけます。
 ※当日の懇親会では軽食を用意いたします。各自千～二千円程度の会費をご準備ください。
 ※雨天決行です。雨具、長靴のご準備をお願い致します。

申込方法：前日までにメール、FAX、電話または下記メールアドレスにて「氏名」「住所」「電話・メール」などお知らせのうえ、お申込みください。
 殿下郷ホタルとハナモモの里街道実行委員会 TEL: 080-3425-9580（担当：松平）
 福井市水谷町（殿下地区）39-1 E-mail: matzdaira@yahoo.co.jp

実施内容 ホタルとハナモモの整備、PR活動を実施！

- ・ハナモモ植栽地とホタルの涵養地の整備を行う
整備に参加する人が増えるように尽力
- ・他県視察や団体専門業者とミーティングを行い、ヒントを得る
- ・ハナモモの植樹を行う
- ・地区内外にホタル涵養の意義を広めるために、ホタル観賞イベントを開催

実績

- ・ハナモモ植樹地整備に延べ87名参加
ホタル涵養地整備に延べ100名参加、
- ・岡山県、高知県等の先進地へ現地視察を行う
団体専門業者とミーティングを「綺麗に見せるための植え方・育て方」、
「来客を呼び込むための駐車場とトイレの整備が必要」等の行い、学びを得た
- ・合計300本のハナモモの植樹を行う
- ・ホタル観賞イベントに10名が参加した

<活動内容・実績（令和2年度～令和6年度）>

・令和6年度

実施内容 ホタルとハナモモの整備、PR活動を実施！

- ・ハナモモ植栽地とホタルの涵養地の整備を行う。整備に参加する人が増えるように尽力
- ・他県への先進地視察にてハナモモ涵養を行っている団体とミーティングを行い、ヒントを得る
- ・ハナモモの植樹を行う
- ・地区内外にホタル涵養の意義を広めるために、ホタル観賞イベントを開催

実績

- ・ハナモモ植樹地整備に延べ約70名参加、ホタル涵養地整備に延べ約120名参加、
- ・静岡県、山梨県等の先進地へ現地視察を行う
先進地団体とのミーティングで、ハナモモ涵養のノウハウ、6次産業化という学びを得た
- ・合計600本のハナモモの植樹を行う
- ・ホタル観賞イベントに13名が参加した



<今後の予定（令和7年度～）>

内容①

ハナモモの植栽を行った場所の整備を継続して行い、施肥、下草刈り、剪定等を行いながら数年後の春に地区全体にハナモモが咲き乱れ地区の新たな観光名所とする

目標①

2年後をめどにハナモモ植樹祭を、5年後をめどにハナモモ鑑賞イベントを開催して、地区をハナモモの観光名所として定着させる

内容②

カワニナを放流したり、水路を作るなどしたホタル涵養地の整備を引き続き行い、数年後に地区全体にホタルが飛び交う新たな観光名所とする

目標②

ホタルの専門家に継続して関わってもらい、ホタル観賞イベントを毎年実施して地区をホタルの観光名所として定着させる

